



城

土(つち)の部・9画

左右型ノ一(よこ)

くん しろ 織田信長は、琵琶湖のほとりの安土山に城をきずいた。
祖父の趣味は、日本中の城跡をめぐることだ。

おん ジョウ この町は、かつて城下町として栄えた。
京都で二条城を見学した。

いみ しろ・とりて ● 城跡(城跡)・根城・山城・城郭・城閣・城下町・城
市・城主・城内・城門・古城・築城・登城・落城

● 特別な読み…(都道府県) 茨城・宮城

なりたち



地面からめがでた形で、土のこと。



おのの形と、うつわからしるがあふれる形で、できあがること。

城

土を一段一段つきかためて、高く積みあげ、できあがったおしろのかべのことから〈しろ・とりて〉の意味になった。

となえかた

城

土へんに(よこ たてもちあげ)

城

ノ

城

よこ

城

かぎはね

城

たすきにてん



きを つけよう 城と似ている字…域